

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年4月1日

事業所名 子どもプラス宜野湾教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	0		
	2	職員の配置数は適切である	0	2	2		・非常勤が多く不安定であるため、常勤者を増やす。 ・管理者により送迎などの配置調整を行っている。 ・当日欠勤の調整に課題が残る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	0		・ミーティングは行っているが、限られた時間を有効に使う方法を検討していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	1	1		・アンケート結果をもとに改善を重ねていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	3	1		・ホームページで公表準備中
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	1	・フランチャイズ本部指導より定期的に巡回指導有り。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	0	・フランチャイズ本部より毎月研修ビデオがある。	・県内で開催される研修会等のお知らせは周知している。 ・今後は積極的に参加をしたい。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	0	・基本的なプログラムがある。また個別に応用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2	0		・ミーティング等で立案決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0	・予定表を配布し、通所児童に対してもお知らせしている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	0	・日々の申し送りを実施	・打ち合せ等の情報共有体制の検討が必要。 ・課題点を解決するミーティングも必要、今後時間を設けたい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	2	2		・送迎の兼ねいで事後報告体制が弱い為、職員間シフトに合わせた体制を検討。 ・全体ミーティングで非常勤職員を含めて情報共有をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1	0		・日々の記録はあるものの改善項目を検討する情報共有も検討。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2	0		・一度だけでなく、定期的なガイドラインの精読を行う。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1	0		・時間割の変更及び振替休日連絡がない場合ある為、保護者及び学校との情報共有を図る。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	1	1		・現在は、利用無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	0		・情報共有は、学校担任がメインとなっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	0		・現在は、事例無し。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	0		・今後センターからの助言もいただきながら、支援の質を高めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	0	・地域の児童館や公園を利用している。	・障がいのない子どもたちとの交流をメインとするプログラムも組み入れる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	3	0	・月1回の市内連絡会へ極力参加をしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	1	・事業所内でうまく言った支援については、方法を保護者と共有している。	・継続して親御様からの悩み、困りごとを改善できる支援を行う。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	0		・継続して親御様からの悩み、困りごとを改善できる支援を行う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3	1	・保護者も交えた勉強会を開催したことがある。	・今後検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2	0		・改善要望を出しづらい体制も鑑み、意見を積極的に求める体制作りを目指す。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	0	・日々の連絡ノートにてイメージが伝わりやすい様、写真を掲載している。	・定期的な会報誌も、今後検討していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	3	1	0		・引き続き、プライバシーを重視していきたい。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	0		・今後、積極的に行っていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	0		・細かに伝わっていないところもあり、十分な周知を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	0	・法定訓練を実施。	・法定訓練以外でも非常時に備えた行動訓練を継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3	0	・マニュアルを精読している。	・マニュアルについても定期的に見直しを図り、内容を精査していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	3	0	・マニュアルを設置している。	・日々の情報共有も含め、明確なガイドラインを決定していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	0		・重度なアレルギーがある児童が少なく、意識が弱くなっている。今後はアレルギーについての研修会にて意識を高めた。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	0		・改善も含めた情報共有を高めていく。